

令和5年度 学校自己評価・学校関係者評価委員会に係る評価結果報告

令和6年6月6日(木)開催

下記のとおり、学校評価について報告いたします。

学校法人朋友学園 四国総合ビジネス専門学校 校長 塩崎 潤

各評価項目の評価基準(4段階)

A：十分である **B：おおむね十分である** **C：やや不十分である** **D：不十分である**

No.	評価項目	評価	自己評価結果・改善方策等	学校関係者評価委員会結果・質疑・意見等抜粋
1	教育理念・人材育成	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方針等は学校要覧に明記され、共有されている。 ・社会や業界のニーズに応えられる人材育成に努めている。 ・教育方針等のより一層の浸透を図り、学校の一体感を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりを大切にする教育や「創造・自主・誠実」を重んじる校風は学校の強みである。
2	学校運営	B	<ul style="list-style-type: none"> ・法人として運営方針等を定め、適正に運営がなされている。 ・新たな学校改革の方針を検討し、改善を図ろうと努めている。 ・職員間の関係が良好で、チームで運営にあたる体制がある。 ・学校改革については全職員の共通理解のもとに推進していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全般的に「B」評価となっており、概ね安定した学校運営が行われている。 ・職員間の関係が良好であるのは望ましいことだ。
3	教育活動	B	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムの編成や指導體制は整備されている。 ・成績評価・単位認定、卒業・進級等の基準は明示され、適正に運用されている。 ・授業評価は継続して実施し、授業の改善及び充実を図る。実施方法ではオンライン実施等、より効率的な実施を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年間のカリキュラムは、社会で必要とされるPCスキルを身につけるのにふさわしいものになっている。 ・親が本校の卒業生、兄弟が卒業生といった生徒が多いのは、本校の教育活動への期待と信頼の表れでもある。
4	学修成果	B	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導は、計画的かつ丁寧に行われ、就職率は安定している。 ・多様なニーズに応えるための面談は成果をあげている。 ・「個別に、わかりやすく、丁寧に」の姿勢で指導にあたる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得、就職活動等、専門学校に求められる教育活動は、「個別に、わかりやすく、丁寧に」の方針のもと行われている。
5	生徒支援	B	<ul style="list-style-type: none"> ・在校生、卒業生に対する支援体制は概ね整備されている。 ・高等教育修学支援制度対応のほか、学内奨学金の充実等により経済的な支援に対する評価は高い。 ・生徒の多様化に伴い、合理的な配慮等の体制整備も求められる。今後は教職員の研修も含めて、支援体制の強化に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを苦手とする生徒に対してビジネススキルとしてのコミュニケーション力を育むための工夫が求められる。 ・授業の様子を見学させてもらったが、学校の温かい雰囲気伝わってきた。

6	教育環境	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ等の施設・設備は概ね整備されている。 ・インターンシップはミスマッチ予防に成果をあげている。 ・防火・防災訓練は、南海トラフ大地震を想定して、地震・浸水害も想定したもので行う。継続的に消防署、関係機関との連携をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4年に1度のPC更新が行われ、教育環境の維持が図られている。 ・防火防災教育は、今後も消防署等との連携のもと積極的に実施していくことが大切である。
7	生徒の受け入れ状況	B	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的、継続的にオープンキャンパス等の生徒募集活動を展開し、入学生が前年度より18名増加するなど、成果をあげた。 ・生徒納付金は適正に取り扱われている。 ・少子化に伴う生徒数の減少を見据えた生徒募集の在り方を継続して検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学生の増加について、前回の評価委員会で提言のあった生徒募集に関する工夫改善の成果がみられる。 ・進学ガイダンスやオープンキャンパスでの先生方の対応が生徒に好感を与えている。 ・学校単位の進路探求学習を受け入れは、高校生へのPRとしても効果的なので今後も継続すべきである。
8	財務	B	<ul style="list-style-type: none"> ・入学生の増減による影響を受けながらも概ね安定した財務基盤を維持している。 ・限られた予算を効率的に運用するように工夫している。 ・より安定した財務のため、今後も入学生確保、求職者支援訓練生の確保への努力が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎の老朽化に伴う大規模改修も視野に入れながら、中長期的な財政基盤を構築することが求められる。 ・授業料が他校に比べて安価に抑えられているのは、本校の売りでもある。諸経費も値上がりして厳しい面もあるだろうが、可能な限り維持していくのが望ましい。
9	法令等の遵守	A	<ul style="list-style-type: none"> ・設置基準、関係法令は遵守され、適正に運用されている。 ・個人情報情報は、慎重かつ厳正に取り扱われている。 ・授業アンケート、自己評価アンケート等の結果を分析し、課題の明確化、共有化をしたうえで、学校をあげて教育活動の改善、充実に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法令等の遵守は、例年高い評価となっている。教職員の自覚と責任ある行動は今後も維持すべきである。 ・学校評価は今後も継続し、常に教育内容の工夫改善に努めることが大切である。
10	社会貢献・地域貢献	B	<ul style="list-style-type: none"> ・公的機関からの求職者支援訓練には積極的に協力している。 ・ボランティア活動の協力依頼にも可能な範囲で応じている。 ・今後も求職者支援事業の受け入れは継続し、幅広く県下の情報専門教育を支える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・求職者支援事業の受け入れは、本校教育の柱の一つである。今後も積極的に訓練生を受け入れていくことが求められる。